

# 埋設物調査システム

道路とライフラインに関する業務の電子化を実現

ハザード情報などが参照可能な背景地図に、工事予定箇所のデータ入力を行うと、協議対象者にmailが送付され、協議内容をシステムに入力するものであり、手続きを電子化し、距離的な制約を無くし、延いては市民サービスの向上を目指す。

## 構成

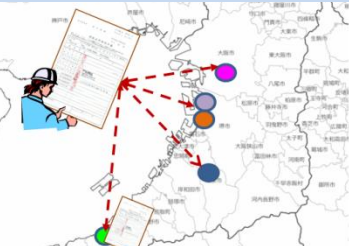
OSSを利用したWebMapシステム  
 サーバ側 : GeoServer  
 クライアント側 : Heron - M C

背景地図 : 地理院地図  
 ハザード情報: 液状化、地すべり、浸水区域  
 緊急輸送道路、都市圏活断層図、  
 道路中心線、河川中心線、橋梁(大阪府)など

## 機能

- ・点、線、面の入力
- ・ハザード情報との重ね合わせ表示
- ・協議データの入力、図面の添付
- ・回答の入力

## 地域課題



電気、通信、ガスの公益企業の業務効率化による営業拠点の集約に伴い、事業者の移動距離が長くなった。  
 結果的に、**市民の負担が発生**している。(工事費にコストが含まれている)  
 すべての手続きが紙の調書の持ち回り協議になっている。または、一堂に会した調整をしている。



堺市道路占用者連絡会・調整部会

今後、高度成長期以降に整備した**インフラの急速な老朽化による手続き件数(工事)の増加**が予想される。



- ・移動時間の大幅短縮
- ・工事の安全性向上へ確実な埋設物調査の実施へ
- ・多(依頼者)⇔多(回答)の双方向の利用

## 取組み

- ・コンセンサスを得ながら、実運用に結び付ける。
- ・OSSを利用したアジャイル的な開発を行う。
- ・行政が保有しているデータの活用、公開を推進する。

## 利用の流れ



すべての回答がされる

道路数34箇所に基づく道路占用関係者意見調書

事業名	意見	結果
NTT (依頼者)	協議内容に、施工の調整が必要です。	2016/11/22
関西電力 (依頼者)	変更なし。	2016/11/24
大阪ガス (依頼者)	協議内容に調整が必要です。	2016/11/24

意見調書の印刷

開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会  
 (大阪府GIS官民協議会) 支援グループ

問合せ先 (一社)大阪府測量設計業協会  
 E-mail oosakass@oak.ocn.ne.jp